



▲旧友と久しぶりの再会を喜んだり、記念撮影する新成人の姿が、多く見られました。



▶今年の成人式も、密を避け、マスク着用で行われました。



誓いの言葉を述べる新成人代表の山崎 浩太郎さん



新成人に向けてのお祝いの言葉を述べる小峰町長



◀懐かしい恩師の姿を見て、笑顔になる新成人



▶受付時に、新成人たちは、中学校時代に書いた、20歳の自分に宛てた手紙を受け取りました。



中学時代の恩師から、お祝いのことばがありました



大人の自覚と責任へ 新たな誓いの日 令和4年 成人式

新成人の皆さんの「大人の門出」を祝おうと、1月9日（日）に、令和4年成人式が町文化会館で行われ、今年成人を迎えた117人のうち、94人の新成人が会場に訪れました。また、新成人のほか、新成人者のご家族や、中学校時代の恩師なども会場に訪れました。

今年の成人式も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響から、消毒、検温などの徹底、マスク着用での入場、座席の間隔を空けるなど感染防止対策を実施し、開催しました。

式典では、小峰孝雄町長から「みなさんは、20歳を迎え、人生の夢や希望をお持ちのことと思います。もしくは、その夢や希望をばぐくんでいる最中かもしれない人生です。みなさんには、その夢や希望をぜひ実現し、好きな道を進んでいっていただきたい。」と新成人へメッセージが送られました。

誓いのことばでは、新成人を代表して山崎浩太郎さんが「家族や日々支えてくれた人々への感謝の気持ち」を伝え、「これまで、周りの大人に助けてもらったことが多かった私たちですが、これからは助けに甘んじることなく、自分に責任を持つ行動をしなければなりません。そして、今まで目を向けることが少なかった「社会」にも目を向け、時代を創り、世の中を担う一員として、自覚を持つことが大切です。前例のない世の中となった今、簡単には打ち破れない困難に直面することもあると私たちが20年間積み上げてきた経験が切り開いてくれると思います。新成人一同、それぞれの決意、信念を胸に歩んでいきます」と誓いました。

恩師のことばでは、出席した6人の恩師それぞれからお祝いの言葉が贈られ、会場内が温かな空気に包まれました。また記念撮影は、昨年は屋外での実施でしたが、今回は例年どおり会場内での撮影となりました。

式典後の成人式実行委員会によるアトラクションは、規模を縮小し、委員作成のスライドショー上映のみを行いました。旧友や恩師と久しぶりに再会し、お互いに近況を報告しあったり、中学時代の自分の写真を懐かしんだり、喜びに笑顔が輝く新成人の姿がたくさん見受けられました。

とざわ けい
戸澤 景さん
「凜として輝く」人生
にしていきたいと思
い、この字にしまし
た。



かさい いずみ
葛西 泉美さん
高校でバスケット部に所属していた時に、先輩からもらった部名「玻暢(ハノン)」に入っていた漢字で、その時から大切にしています。のびやか、広げる、ゆきわたるという意味があるので、のびのびとして、人の輪を広げられるような存在になれるよう、がんばります。



にしだ みお
西田 美央さん
学校での対面授業やサークル活動が始まり、充実した1年でしたので、この字にしました。これからも充実した人生にしていきたいです。

やまさき こうたろう
山崎 浩太郎さん
自分の楽しいと思えることに、今後、まっすぐに打ち込んでいけるように、この字を選びました。



20歳を迎えた「今」そして「これから」を表す「わたしの

一文字」

これから社会人として様々な経験をする新成人。20年という節目の日を迎えた、実行委員の6人に現在、そして未来を表す「一文字」をお聞きました。
※感染防止対策を実施し、実行委員の方々の写真は個々に撮影しました。

どい あゆな
土井 杏結菜さん
この20年間、私を支えてくれた全ての人に感謝を込めてこの字を選びました。これからは、自分が支えていける人になりたいです。



わたらい もえ
渡会 萌衣さん
コロナ禍の現在、SNSだけではなく、人と人の繋がりを大事にしたいと思
い選びました。また養護教諭の実習を通してたくさんの人と関わり、自分の
世界が広がりました。今後養護教諭として、子どもたちが多くの繋がりを持
てるように、学校や家庭、地域全体を巻き込んで、支援体制をつくりあげてい
きたいです。



成人式実行委員によるスライドショー の上映が会場内で行われました

民法改正後(令和5年(2023年)以降)も 20歳を対象に式典を開催いたします

平成30年(2018年)6月に民法の定める成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が成立し、令和4年(2022年)4月1日に施行されることとなりました。

成人式対象年齢について、町の教育委員会において検討いたしましたところ、18歳の多くは高校3年生であり、受験や就職といった進路選択の

大事な時期であることに配慮し、多くの方が落ち着いて式典に臨むことができるように、成年年齢引き下げ後も、20歳での式典開催とすることが望ましいとの結果に至りました。

なお、式典の名称につきましては、今後検討してまいります。

■問合せ 町中央公民館 ☎ 296-2774

新型コロナを考慮し、実行委員が作成したスライドショー上映を、規模を縮小し、会場内で実施しました。

中学校時代の写真や動画、また、恩師によるメッセージ動画が流れ、会場内は当時を懐かしむ、温かな空気に包まれていました。

実行委員は、夏頃から恩師のメッセージを撮影したり、打ち合わせを行ったりするなど、準備をすすめてきたとのことでした。また当日は、受付業務を行うなど、たくさんのご協力をいただきました。成人式実行委員の皆さん、ありがとうございました。



▲スライドショー終了後に実行委員による、感想が述べられました。



▲スライドショーの上映に会場内は盛り上がりを見せました。



▶当日に向けて、打ち合わせを行いました。